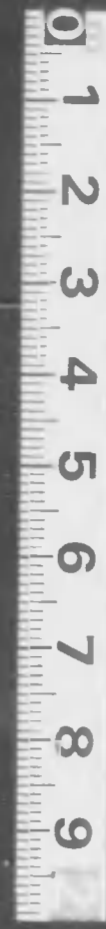


寫眞週報

情報編輯局
五月廿一日・第六百九十九號・第十卷

第三十六回海軍記念日



東亞の興廢にかけて

軍令部總長 永野修身大將



五月二十七日、われは聖戦下に四度海軍記念日を迎へる。三十六年前のこの日、日本海海戦の決定的な勝利によつて、天壤と俱に窮りない皇國の發展は更に世界史的意義を持つに至つた。今や、帝國を盟主として東亞の新しい歴史を切り拓くべく、波は漸く太平洋に高い皇國の興

廢「吾東亞の興廢をかけてこの一戦を太平洋に争ふ日なし」とは決して斷言できないのである。三十六年前日本海に注がれた世界の眼は今太平洋にそして精銳を誇るわが帝國海軍の動向に注がれてゐる。さか巻く怒濤を壓して立つ巨艦の如き、新軍令部總長永野修身大將の爽快な風采、そこに帝國海軍の不動の決意がうかがはれる。

滿洲事変十周年

へ 洲滿・地聖の血濺祖父



滿洲鐵道總局

土の祭典・根々祭

黒潮を呑む

わが艦隊



緊迫變轉する世界情勢をちつとにらんでわが帝國海軍の
鐵の浮城は、黒潮にしづきをあけて眞剣な演習を續ける。
黙々何足霜、血の出るやうな訓練を續ける帝國海軍の無言
の偉容は軍旗に狂奔する敵性國家群のそれと比較して力強

い限りだ
東洋平和確立の前途にはまた幾多の難關あるを想ふと
き、太平洋の潮騒を壓して海の護りに鐵壁の陣を布く海
の精銳の底力には、まことに意義深いものがあらう

撮影 海軍省

天空を截る

わが海軍航空隊

昭和十二年八月十五日、この日わが海の荒鷲は七百二十ミリの低気圧を衝いて初の波洋爆撃を敢行し世界戦史に不滅の足跡を印した。疾風に舞ふ木の葉のやうに、狂れ狂ふ暴風雨と戦ひながら支那海を越えて遠く大陸を席捲し、敵軍據点を殲滅して無事歸還したわが海軍航空隊、われ／＼は何時も新たな感激を以てこの日を想起せざるを得ない。この壮舉によつて支那事變にはつきりとその償容を現した海軍航空隊は、爾來沿海封鎖にまた上陸

作戦に、更に數十回に及ぶ重砲爆撃、ビルマルートの爆撃など、實に嚇々たる戦果を擧げて今日に及んでゐる。今や、太平洋の波益々高く一觸即發の危機を孕みまた海軍航空隊の眞の戦場は海洋にあることを思ふ時、われ／＼一億同胞はこそつてその健在を祈つて止まない。ここに紹介したのは最近行はれた浙江作戦に於ける海軍の果敢な爆撃行である。



⇒ 命令一下駆け足で機へ

⇐ 身ごしらへを厳重にして

⇐ 手を揃つて戦友の壯途を送る

⇐ 一糸亂れぬ編隊を組んで

撮影 支那方面艦隊報道部



⇐ 目的地近し! 全員元氣百倍

⇐ 手柄話に微笑む兵士たち





↑
 急速してくる敵の機甲部隊に火筒を浴びせかける大砲放射隊の活躍

↓
 實戦さながらの市街戦。装甲自動車先頭に突込んでくる敵の頭上に手榴弾をたきつける

↑
 装甲自動車に偽装を施して前進命令やおとしを持ちかまへる

↓
 通信隊も出動、部隊本部からの命令を傳へまた刺々變化する戦況を報告する

↓
 春雨にぬれて整列する演習参加の將兵、その堂々たる威容に上海の治安は脅動たしない

↓
 激しい銃聲の中を友軍へ連絡に軍犬は勇敢にとび出してゆく

四敵たり上海陸戦隊

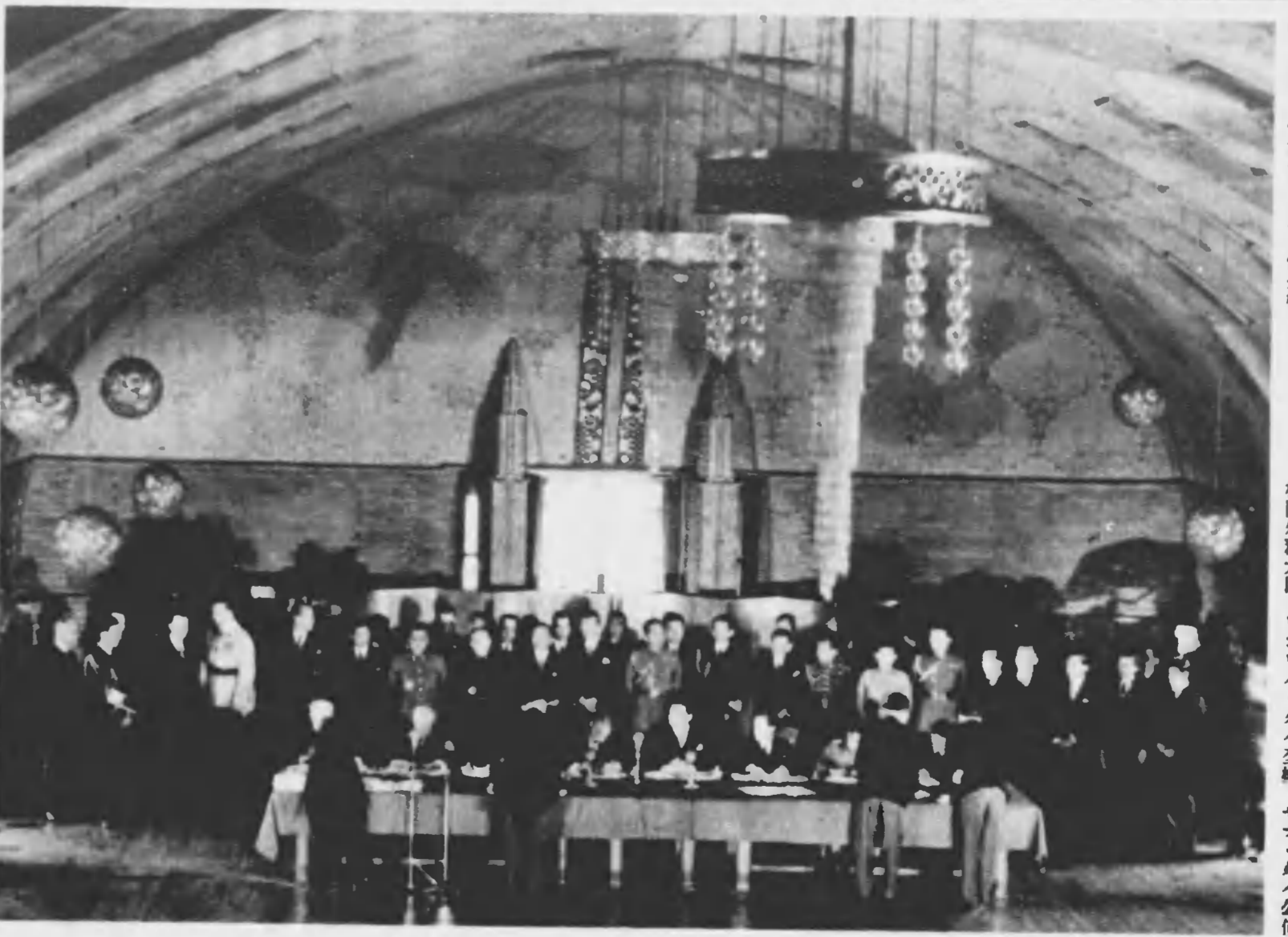
皇軍五年、新國民政府が南京に遷都して、
 新生支那の雄々しい洗滌をあげてから既に一
 少年の年を數へた。今や支那大陸は無士から
 建設へ、全くその面目を更めつゝある。しか
 し、そのかけにはわが在支派遣部隊が日夜警
 備に、討伐に不斷の努力と犠牲を拂つてゐる
 ことを片時も忘れてはならない
 ことに、鐵血陸戦隊の名を全世界に轟かし
 た上海特別陸戦隊の最近の威容と苦心の一部
 を傳へよう



撮影 支那方面陸軍報道部



日・佛印経済協定調印
五月六日、外務大臣官舎
調印を終つてはつとれた兩國代表、右から松岡大使、松岡外務大臣、アンリ・佛大使、ロバン・佛全權



タイ・佛印本和條約調印
五月九日、内閣議事堂
新秩序建設の一翼として東南アジアの平和を確立する歴史的調印式。左からロバン・佛全權、アンリ・佛大使、松岡外務大臣、ワノワイ・タイ全權、セナ・タイ大使

日・佛印・タイが 握り合ふ三つの手

日本と佛印との經濟關係を新しい基礎の上に打ちたてようとして、昨年十二月から東京で日・佛印經濟會商が進行してあつたが、遂に五月六日になつて居住條約及び關稅貿易支拂協定が成立、兩國代表によつて調印された。

これが時を同じうして、去る三月十一日めでたく紛争調停が成立した。タイ・佛印兩國間の調停條約の條約文作成の討議が二月にわたつて三國間に交はされてあつた。

新軌道に乗つた 日本と佛印關係

東亞新秩序を作りあげてゆかねばならぬ同じ立場にありながら、わが國と佛印との關係は今までのいふやうに努力したにもかかわらず、思ふやうにはなごりませんでした。ところが昨年の八月、松岡外相とアンリ・佛大使との會談が進められ、その後わが國と佛印との國交は全く新しい軌道の上になつていきました。

この話し合ひのうけでわが國は佛印の領土や主權を十分に尊重することを約束し、佛印の方では投資方針をよつから提案しました。このためわが國から佛印投資委員会に委員の派遣や、皇軍が佛印へ進駐することが認められたわけでした。

いふ／＼協議されていきましたが、その結果今度の日・佛印經濟協定となつてあらはれてきたのです。この協定によりまず第一、いままでは最惠國待遇（MFN）を享受してゐたにすぎなかつたのでした。が、今度の居住條約により、日本と入國、居住、それに各種の課税についてお互の國民と同じ待遇を佛印で享受し合ひました。また船舶についても日本船が佛印にまゝ時、佛印船が日本にまゝ時、それ／＼自國船の特典を受け、ことになりました。この條約の有効期間は五年ですが、お互の意志によつて續續できます。

以上は經濟協定の簡単な内容ですが、この協定が結ばれたことは、東亞の盟主となつたわが國にとつては、オヤヤと佛印といふ事が新たにできたやうなもので心算を感ずります。また、佛印にしては、これからの發展に必要となつた氣持でることです。この協定が結ばれてからといふのも、ハノイの日・佛人の間には非常な熱がもたれてゐるといひますが、今後日本の商品が輸入、輸出されることでも、日用品不足に悩んでゐるわが國人たちにとつても大きなよみで、これを、また本國發展にも等しい佛印の熱意な交渉が、この間接され、日・佛間近いことでも。

仲なほりしたタイ と佛印

このよるこづの日から間もなく佛・タイ兩國の平和條約も正式に調印され、この兩國が日本を後援にして平和を約束する日がたつと近づいてきました。



驚荒の海くたば羽に陸海

一、大陸の空縦横に

海軍航空隊は支那事変の始りから、数々の戦役、戦況の進展を決定する重要な役割を果して来た。その中でも、長距離の遠征飛行、大規模の空襲、そして、戦況の急変に際しては、航空隊の活躍が顕著であった。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。

支那の地理は、世界の地理と異なり、山岳の険しい地形と、広大な平野とが混在している。この地形は、航空隊の活動に有利な面と不利な面とを同時に生み出している。不利な面としては、山岳地帯での飛行は、高度を維持し、視界を確保する必要があるため、燃料消費が激しく、機体の負担も大きい。一方、有利な面としては、広大な平野は、航空隊の活動に非常に有利な環境を提供している。

航空隊の活動は、大陸の空縦横に展開された。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。

航空隊の活動は、大陸の空縦横に展開された。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。

航空隊の活動は、大陸の空縦横に展開された。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。

航空隊の活動は、大陸の空縦横に展開された。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。

航空隊の活動は、大陸の空縦横に展開された。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。

二、見よ下駄履き機

海軍航空隊には、水上偵察機といふ特殊の飛行機がある。浮舟を車輪がはりに履いてゐるのだから、下駄履き機といふ愛稱を持つてゐる。開戦前から方々の戦線に活躍し、戦況の進展に重要な役割を果たしている。

水上偵察機は、水上偵察機といふ特殊の飛行機がある。浮舟を車輪がはりに履いてゐるのだから、下駄履き機といふ愛稱を持つてゐる。開戦前から方々の戦線に活躍し、戦況の進展に重要な役割を果たしている。

水上偵察機は、水上偵察機といふ特殊の飛行機がある。浮舟を車輪がはりに履いてゐるのだから、下駄履き機といふ愛稱を持つてゐる。開戦前から方々の戦線に活躍し、戦況の進展に重要な役割を果たしている。

水上偵察機は、水上偵察機といふ特殊の飛行機がある。浮舟を車輪がはりに履いてゐるのだから、下駄履き機といふ愛稱を持つてゐる。開戦前から方々の戦線に活躍し、戦況の進展に重要な役割を果たしている。

水上偵察機は、水上偵察機といふ特殊の飛行機がある。浮舟を車輪がはりに履いてゐるのだから、下駄履き機といふ愛稱を持つてゐる。開戦前から方々の戦線に活躍し、戦況の進展に重要な役割を果たしている。

三、武動に輝く翼のかけ

海軍航空隊の機動性、スピード、そして、その武動に輝く翼のかけ。それは、戦況の進展を決定する重要な役割を果たしている。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。

海軍航空隊の機動性、スピード、そして、その武動に輝く翼のかけ。それは、戦況の進展を決定する重要な役割を果たしている。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。

海軍航空隊の機動性、スピード、そして、その武動に輝く翼のかけ。それは、戦況の進展を決定する重要な役割を果たしている。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。

海軍航空隊の機動性、スピード、そして、その武動に輝く翼のかけ。それは、戦況の進展を決定する重要な役割を果たしている。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。

海軍航空隊の機動性、スピード、そして、その武動に輝く翼のかけ。それは、戦況の進展を決定する重要な役割を果たしている。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。

海軍航空隊の機動性、スピード、そして、その武動に輝く翼のかけ。それは、戦況の進展を決定する重要な役割を果たしている。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。

海軍航空隊の機動性、スピード、そして、その武動に輝く翼のかけ。それは、戦況の進展を決定する重要な役割を果たしている。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。

海軍航空隊の機動性、スピード、そして、その武動に輝く翼のかけ。それは、戦況の進展を決定する重要な役割を果たしている。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。

四、海洋にはどたく日こそ

海軍航空隊は、海洋にはどたく日こそ活躍している。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。

海軍航空隊は、海洋にはどたく日こそ活躍している。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。

海軍航空隊は、海洋にはどたく日こそ活躍している。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。

海軍航空隊は、海洋にはどたく日こそ活躍している。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。

海軍航空隊は、海洋にはどたく日こそ活躍している。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。

海軍航空隊は、海洋にはどたく日こそ活躍している。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。



富永謙吾 (Fukunaga Kenkichi) の漫画。海軍航空隊の機動性、スピード、そして、その武動に輝く翼のかけ。それは、戦況の進展を決定する重要な役割を果たしている。その中でも、最も重要な役割を果たしたのが、大陸の空縦横に展開された航空隊の活動である。



農村機甲

鐵骨の車輪の下から粘土質の土壌は三、四寸の深さに掘りおこされてゆく
クランク式、ロータリー式、クランク兼用式の各トラクターがそれ／＼の性能を競演する



出揃った農の機械化部隊



どの程度に掘られたか——各トラクターの深耕度が測られる



この爪車が旋回しながら起と碎土を同時に行ふ

兵庫縣 影撮 尾崎 設

農村の勞力不足はやうやく深刻になつてきたが、それにもかゝらず食糧の生産はできる限り擴充されなければならぬ
勞力の不足と生産の擴充 この矛盾を解決して、戦時日本の兵站部のお役に立派に果すためには、農村は昔から一向に變らぬままの農業の經營を合理化しなければならぬ。これにはまづ機械力によつて人手不足を克服し生産を擴充することが考へられる
事實日本の農村はいまこの機械化の方向に再出發しようとしてをり、とくに岡山、兵庫兩縣下などではすでに數年前から實地に耕耘機を使って所謂機械法を實施し、いづれも大きな効果を収めてゐるが、兩縣ではこのほど農會主催で、勞力不足の補強策として、さらにその普及と効果を全國一般に徹底させるため、耕耘機の實演會を開催した
軍の強化には機械化が第一であるが、農にも機械化が實施されなければいつまでもそこに進歩はない。國家總力戦にも農だけが立ちおくれることになる。おくれはせながらいま農法の機械化が叫ばれてきたことは、たしかに農村の新體制といつてよく、こゝに紹介する試みなども、農の機械化とは全く無縁であると信じられてゐた小農制下の日本農業にとつて、それは正に歴史的の意義をもつものであつてその全國的な成果には大きな期待がかけられてゐる

岡山縣 設下 影撮 本日ニ一西社



部隊

試運転 モーターをかけたとき、ドワツと速い運動がはじまつた
このトラクターは全く日本のものなので、その構造は左右兩輪をもつた鐵骨車輪に三馬力程度の發動機を載せ後部の爪車を旋回しながら自動的に進行する
トラクターは馬牛(耕)に比べて殆んど十倍の競争をあげることができる——耕耘の比較實績



勤行報國青年隊臺北訓練所

隊設建灣臺の代次



新しき臺灣建設の希望に燃えて

山の訓練所は臺中州霧社奥地五キロの地點にあつて、十年前の霧社事件はここへやら、今は山の空氣みちる平和境となり、櫻の名所となつてゐる。至るところに高位段丘があり、黄金が埋つてゐる。青年たちはあらゆる艱難を克服して霧社から富士に至る十三キロあまりの産金道路開鑿に奉仕してゐる

次代の推進勢力となるべき青少年の錬成は刻下の急務であるが、臺灣總督府では昨春來青年隊に新展開を期すべく、勤行報國青年隊を創設した。二十歳前後の木島青年に對し、勤勞奉仕、生活訓練により、日本精神の體認をせしめるとともに、その心身を錬成して皇民たる資質を完成せしめようといふのである。そしてこの勤行報國青年隊の訓練所はまづ三月末高雄に設けられ、二百名の隊員が二ヶ月間二回にわたつて炎熱をもとめせず、大排水路や道路新設に挺身して臺灣青年の意氣を發揚した。



全島各州國から選ばれた青年達は、青年隊で更に嚴密なる身體検査を受け、やつと入隊を許される。隊服を身に纏ひ勤行の隊章を戴いた青年達の顔は、南進日本の將來のやうに、はれはれと輝いてゐる



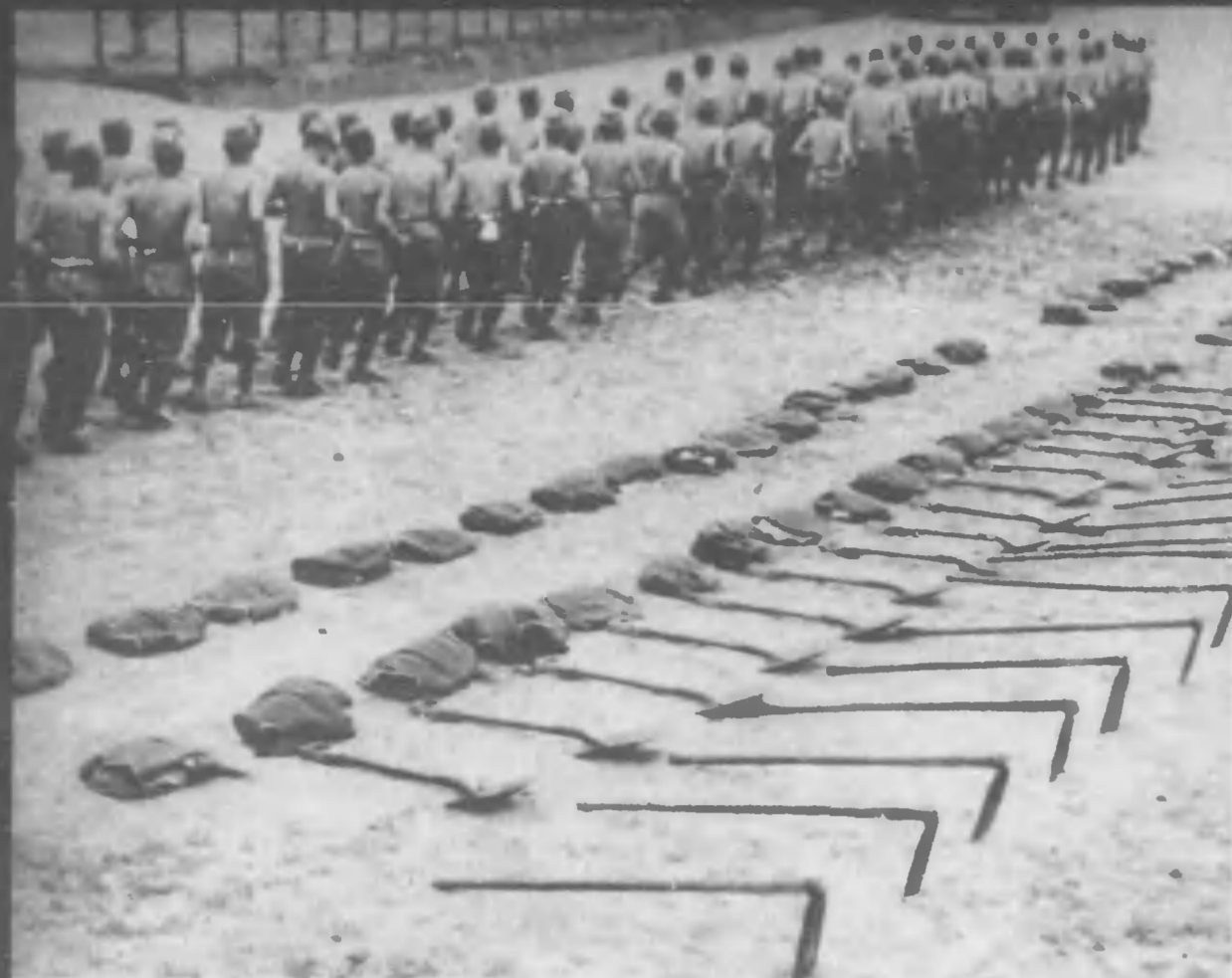
青年隊では朝夕指導員と隊員とが神前に集ひ、神拜の後祈りの詞を申し上げ、六百萬の同胞が皇國精神を發揚して八柱一字の大精神を發揮しようと言ふ

また昨年十二月中旬からは臺中州霧社に臺中訓練所が設けられ、二百名の隊員が、斷崖深谷を通する産金道路を開鑿してゐる。この道路は將來花蓮港に通ずるもので、産業上重要性を擔ふものである。更に本年一月中旬から臺灣神社の大前の臺北訓練所では三百名の隊員が、同神社御造替工事に奉仕して敬神の誠を發揮してゐる。なほ昭和十六年度に於ても臺北、臺中等三ヶ所で、三百名宛、各所共三回、勤行を續行して皇民錬成に邁進する計畫である。



撮影 臺灣總督府

臺北の訓練所では、靖家の宮嶺りまず臺灣神社御造替工事に、向ふ數年間引續き勤勞を奉仕するのである。今は三百名の隊員が大排水路掘鑿工事に炎熱を冒して懸命に奉仕してゐる





誌グンツィアツ・テルーリスルイのソルケ



誌グンツィアツ・テルーリスルイ



紙セップ・テルーリスルイのンヘンユミ

軍海國帝たれさ紹介にツイド

會協真寫 題



誌クンフスクル ョフ



誌クンツィアツ・テルーリスルイ・エイノ

世界を日獨伊艦隊と英米デモクラシー陣營とに分けると、樞軸國を軍事的に保持するの目的は、海軍である。

第一次世界大戦以來、海軍の軍備を徹底的に刷新されてきたドイツが、今、官民ともに同國日本の発展なる海軍に對する信頼の念をよきよき當分するに至るは當然であらう。ドイツの海軍のこの心理は、ドイツの新聞雜誌にも非常な強さで反映されてゐる。その證據は、ドイツの海軍の発展をあれは、それがほんたうのものであらうとも、ドイツのジャナリズムでは引つぱり風の吹起である。同じ寫眞があつたところから、この紹介の例である。



誌トナマチイト



伸びゆく国には
病氣は敵だ
減らせ病人
増やせ國力



丈夫な躰が
モノ言京時代

笑顔で、健康で、毎日
を過せるよう…脂肪性の榮養「ハリバ」
を連用して病氣に負けぬ強い抵抗力を培ふことです。

ハリバは「油塊のま」の濃厚ADを十幾層の糖衣に包んだ小粒で、一日二―三粒、體位向上の保衛劑として好適です。

百粒 三圓五十錢
五百粒 一圓五十錢

東京・大阪 田邊商店

内閣印刷局印刷發行

東京新聞 昭和十七年二月十七日 第三版 東京新聞 昭和十七年五月十一日 第一版 東京新聞 昭和十七年六月十七日 第六十七號

(列傳紙張)・A4規格定幅はさき大の書本